

## 4．パッシブな環境調整手法のいろいろ

（1）パッシブシステム：機械設備を用いず，建築自体の部位エレメントの工夫によって，自然エネルギーの有効利用をはかって，環境調整を行う

地球環境問題      機械依存，エネルギー（化石燃料）依存の居住環境が許されなくなる  
省エネルギー，自然エネルギーの有効利用，未利用エネルギーの利用を図る必要がある

（2）パッシブシステムの利点

- ・省エネルギー
- ・非冷暖房時における居住性の向上
- ・建物自体の保護

ただし，パッシブシステムだけでは限界があり，アクティブシステムとの複合が实际的である。

（3）自然エネルギー利用技術と先人の知恵

- ・先人の知恵      民家

化石燃料を用いないで，室内環境を快適に維持するために，その土地の気候風土に特有の様々な工夫を施してきた

現代への応用

（4）いろいろなパッシブな環境調整手法

次ページ以降のテキスト，OHP，スライド参照

防暑，防寒，防風，防雪，・・・・・・

質問などは，環境共生学部棟（生活科学部棟）旧棟4階407まで

もしくは，E-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp









居住環境論（辻原担当分，その2）〔6/6〕

2000.6.16（1時限）

担当：辻原 万規彦 教室：中講義室4

その1（2000.6.9）の参考資料（追加）

2000（平成12）年6月10日（土曜日）付 日本経済新聞より